

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月11日(日) Aブロック 準決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第2試合

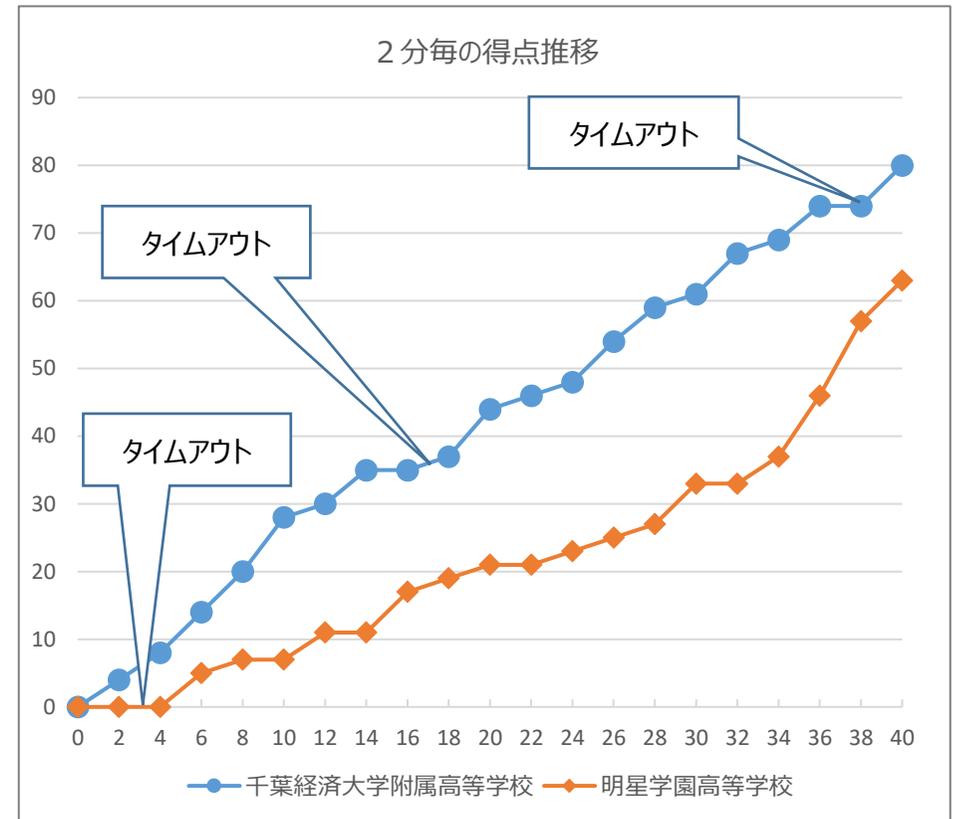
チームA	80	28	1st	7	63	明星学園高等学校 (東京都)	チームB
千葉経済大学附属高等学校 (千葉県)		16	2nd	14			
		17	3rd	12			
		19	4th	30			
		OT					

Aチーム： 千葉経済大学附属高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	角 陽菜多	23	0	0	8	21	7	7	0	0	9	9
2	*	5	坂口 彩花	16	0	1	8	14	0	0	0	2	14	16
3		6	栗山 明日香	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
4	*	7	牧野 琉依	17	1	3	5	17	4	5	2	1	5	6
5		8	横田 美颯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	*	9	高品 里桜	10	1	1	3	7	1	1	0	1	1	2
7		10	三橋 美月	4	0	0	2	3	0	0	1	1	0	1
8	*	11	メンディーシアラ	4	0	0	2	5	0	0	3	3	4	7
9		12	丸山 芽衣	2	0	1	0	3	2	2	1	0	2	2
10		13	今井 優希	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
11		14	榎本 悠衣	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0
12		15	佐藤 未来	1	0	0	0	1	1	2	2	1	0	1
13		16	田端 若菜	2	0	0	1	2	0	0	1	1	1	2
14		17	安川 稀尋	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15		18	大西 佳南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM				池端 直樹								0	2	2
合計				80	2	6	29	75	16	19	11	11	38	49

Bチーム： 明星学園高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		1	滝浦 愛佳	5	1	1	1	3	0	2	2	1	2	3
2		10	大塚 未織	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
3	*	12	浦野 まなみ	5	1	9	1	7	0	0	2	2	3	5
4	*	13	高橋 楓	7	0	0	3	11	1	3	2	4	2	6
5		14	田中 南美											
6		16	高畠 葵											
7	*	17	中島 つぐみ	14	2	6	4	15	0	0	0	2	1	3
8		22	バレイ オクノ	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
9		32	奥田 心月	4	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0
10		55	溝口 希望	7	0	0	2	9	3	4	3	2	1	3
11		74	井上 由紀乃											
12	*	95	武井 遙菜	6	0	0	3	13	0	0	3	1	6	7
13	*	97	高橋 京香	15	0	4	7	17	1	2	2	4	6	10
14														
15														
HC/TEAM				楠田 香穂里								8	6	14
合計				63	4	21	23	79	5	11	16	24	27	51



戦評

記事者：蒲生 壮扶 (山梨県高体連)

1Q互いにハーフコートマンツーマンからスタート。先制は千葉経大附 #4角、ポストアップからジャンプシュート。リバウンドから #5坂口の速攻、#11メンディーのリバウンドシュートが立て続けに決まる。明星はピックプレーから入るが激しいプレッシャーをかけられリズムを作れず、得点が入らない。7:20明星がTOを取りフルコートプレスに切り替える。それでも千葉経大附の怒涛の攻撃により開始4分明星は8-0のランを取られる。明星は #55溝口のポストアップからファールをもらいフリースローで得点。その後も明星はインサイドを攻め続け得点を重ねたが、28-7で1Q終了。2Q明星は2-1-2のゾーンディフェンスを仕掛ける。千葉経大附はリズムが崩れだし、明星は #95武井のリムラン、ポストアップで得点を重ねていく。7:20明星は5人総入れ替えて2-3のゾーンをさらに仕掛ける。千葉経大附は #4のポストプレーで得点するも、攻撃のリズムが作れず3:47にTO。千葉経大附は #5がポストアップから #9の3Pで流れを作り出し、54-21千葉経大附リードで前半終了。3Q互いにマンツーマン。明星は #55、97のスクリーンからポストプレーで得点を重ねる。しかし千葉経大附は #4、5、7が勢いそのままに攻撃し続ける。千葉経大附の #11、明星の #95、97がリバウンドを争い互いに譲らない。スピードの落ちない千葉経大附が主導権を握り、71-33で3Q終了。4Qは明星が意地を見せる。#13、17のピックプレーからドライブ、#1の3Pが決まり得点を上げていく。交代した明星の #32の連続ジャンパーで勢いづく。このクォーター13-22となった残り2:06に千葉経大附はTO。それでも千葉経大附はリバウンドから速攻のスタイルを貫き、最終スコア80-63でノーサイド。互いに昨年度チャンピオン同士の意地とプライドの戦いは見ているものを魅了した。

主審	第1副審	第2副審
岸 由貴 (群馬)	坂 美佑紀 (茨城)	藤本 梨紗 (神奈川)